

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。

## 使用上の注意改訂のお知らせ

活性型ビタミンD<sub>3</sub>製剤

カルフィーナ錠 0.25 $\mu$ g

劇薬 カルフィーナ錠 0.5 $\mu$ g

カルフィーナ錠 1.0 $\mu$ g

Calfina<sup>®</sup> Tab. 0.25、0.5、1.0

アルファカルシドール 錠

2011年3月

販 売

maruho マルホ株式会社  
大阪市北区中津1-5-22

製造販売元

共和薬品工業株式会社  
大阪市淀川区西中島5-13-9

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、『カルフィーナ錠 0.25 $\mu$ g, 錠 0.5 $\mu$ g, 錠 1.0 $\mu$ g』の添付文書を改訂致しますので、ご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

### 【改訂内容】（下線 ―― 部 追加改訂箇所）

改 訂 後			現行添付文書（2009年6月改訂）		
<b>2. 相互作用</b> 併用注意（併用に注意すること）			<b>2. 相互作用</b> 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状	機序・危険因子
―現行のとおり―			―略―		
ビタミンD及びその誘導体 カルシトリオール等	―現行のとおり―	―現行のとおり―	ビタミンD及びその誘導体 カルシトリオール等	高カルシウム血症があらわれるおそれがある。	相加作用
PTH 製剤 テリパラチド	高カルシウム血症があらわれるおそれがある。	相加作用			

### 【改訂理由】

自主改訂

先般、骨粗鬆症治療剤の遺伝子組換えヒト副甲状腺ホルモン（PTH）製剤（一般名：テリパラチド（遺伝子組換え））が承認されました。その使用上の注意の「相互作用 併用注意」に、アルファカルシドールを含むビタミンD製剤が記載されていることから、本剤においても「2. 相互作用 併用注意」に「PTH 製剤：テリパラチド」を追記し、注意を喚起することと致しました。


なお、本剤とPTH製剤（一般名：テリパラチド（遺伝子組換え））との具体的な相互作用を示すデータはありませんが、相加的に血清カルシウム値が上昇し、高カルシウム血症が現れる可能性が考えられます。

以上

医薬品添付文書改訂情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」（<http://www.info.pmda.go.jp/>）に最新添付文書並びに医薬品安全対策情報（DSU No.198）が掲載されます。

製品に関するお問い合わせ先：マルホ株式会社 製品情報センター

ひふにやさしい

 0120-122834

フリーダイヤルがご利用いただけない場合 06-6371-8898

受付時間／9:30～17:30 月～金（休日及び当社休業日を除く）

製品情報は弊社ホームページに掲載しております（<http://www.maruho.co.jp/>）